

平成 20 年度 事業 報告 書

平成 18 年 3 月に策定した中期事業計画に基づき、事業の 3 本柱である「調査研究」、「情報収集・提供」、「人材育成・交流」の各部門において積極的な事業展開を図った。

また、事業の質的な向上、市民の施設利用の向上、事業の効率的・効果的な執行などに努めた。以下、平成 20 年度に実施した事業を報告する。

(事業報告の概要)

<h3>1 調査研究</h3>	
<p>名古屋のまちづくりを種々の角度から調査研究するため、学識者、市民、行政など幅広い視点からの自主研究・受託調査を行った。</p> <p>一般研究 6 件のうち 1 件は、大学教授（客員研究員）との共同研究、3 件は NUI レポート（比較的短期間（3～4 ヶ月）で研究し、まとめたもの）である。</p> <p>市民研究に、従来の研究テーマを設定して募集する共同研究部門の他、応募者が研究テーマを自由に設定できる自由研究部門を新たに設けた。</p> <p>研究成果については、機関誌に掲載するとともに、ニュースレターやホームページで紹介するなど、積極的に情報提供を行った。</p> <p>研究成果報告会を行った。</p>	<p>(1) 自主研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般研究 6 件 (NUI レポート含む) ・特別研究 1 件 ・市民研究 (共同研究部門) 1 グループ 6 名 ・市民研究 (自由研究部門) 2 名 <p>(2) 受託調査等 5 件</p>
<h3>2 情報収集・提供</h3>	
<p>まちづくりの関心を高め、理解を深めるために、まちづくり広場やまちづくりライブラリーを運営するとともに、様々な方法によりまちづくりの情報提供を行った。</p> <p>まちづくりライブラリーでは、テーマを定めて所蔵している図書や資料を紹介する資料展を開催するなど、利用者増に努めた。</p>	<p>(1) まちづくり広場の運営</p> <p>(2) まちづくりライブラリーの運営</p> <p>(3) 機関誌の発行 3 回</p> <p>(4) 広報紙の発行 4 回</p> <p>(5) ホームページによる情報提供</p> <p>(6) 歴史的資料の整理</p>
<h3>3 人材の育成・交流</h3>	
<p>市民のまちづくりへの関心を喚起し、人材を育成するとともに、交流の機会を設けるため、幅広く事業展開を図った。</p>	<p>(1) まちづくり支援 地域の“まちづくりびと”養成講座の開催等</p>

<p>子どもとまちづくりの視点から、夏休み期間中に参加体験型の企画展を実施するなど、企画展の充実を図った。</p> <p>住民主体のまちづくりを進めるために、地域の“まちづくりびと”養成講座の内容の充実を図り、人材の育成に資するとともに、市民の行う地域に根ざしたまちづくり活動を支援するために、まちづくり活動助成を実施した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> (2) まちづくり活動団体の助成 19 件 (3) 企画展の開催 (4) 講演会・セミナー等の開催 (5) 賛助会員との交流 (6) 国際技術交流等の実施 (7) まちづくり相談等の実施
<p>4 その他</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> (1) 会議室の貸出・喫茶の提供 (2) 施設の管理

1 調査研究

(1) 自主研究

平成 20 年度から 22 年度までのメインテーマを「持続可能な NAGOYA への変革 - 次世代に引き継ぐ魅力ある都市 - 」とし、「都市基盤」「都市環境」「都市文化」「都市経営」「地域・まちづくり」を重点的な 5 つの分野に設定し、次の調査研究を行った。

ア 一般研究

名古屋のまちづくりや都市計画行政の課題を的確に把握し、名古屋都市センターの職員が中心となって、次の調査研究 6 件を行った。このうち 1 件は、大学教授（客員研究員）との 19 年度から 2 ヶ年にわたる共同研究、1 件は 20 年度から 2 ヶ年にわたる研究、3 件は NUI レポートである。

NUI レポートとは、年間を通じた調査研究の過程で資料収集したことやアンケート調査等でまとめたもの、あるいは、市事業を運営していく上でより深く見識を広めるために名古屋市職員と共同で調査したものなどを、短期間で整理し、レポートとしてまとめたもので、平成 20 年度からの新たな取組みである。

研究テーマ	<ul style="list-style-type: none">・成熟社会における持続可能な居住地形成に関する調査研究（海道清信名城大学教授との共同研究）・効率的な都市内物流のあり方に関する調査研究（大島俊一中部大学教授、名古屋市職員との研究会で実施）・地域まちづくりの推進に関する調査研究（21年度は山崎丈男愛知学泉大学教授等との研究会で実施予定）・NUI レポート1「世界の都心から」～海外交通施策事例調査～・NUI レポート2「都市に住む」～次世代に引き継ぐ魅力ある都市～・NUI レポート3「Shared Space（共用空間）」
-------	--

イ 特別研究

メインテーマである「持続可能な NAGOYA への変革 - 次世代に引き継ぐ魅力ある都市 - 」を踏まえ、次期基本計画や名古屋のまちづくりにつながる研究テーマを公募・選考の上、大学等の若手研究者 1 名を特別研究員として委嘱し、次の研究テーマについて調査研究を行った。

研究テーマ	・名古屋における住宅営団住宅地とその変遷
-------	----------------------

ウ 市民研究

研究テーマを設定して募集する市民研究（共同研究部門）に加え、応募者が研究テーマを自由に設定することができる市民研究（自由研究部門）を新たに設けた。

市民研究は、「歩行者・自転車・公共交通を活かしたまちづくりを考える」をテーマに公募・選考を行い、6名を市民研究員として委嘱、センター職員が共同研究者として、学識者がアドバイザーとして参加し、調査研究を行った。

市民研究は、次の2グループ2名を市民研究員として委嘱し、次の研究テーマについて調査研究を行った。

研究テーマ	グループ1 (1名)	・地場産品を活用した『名古屋の地域ブランド』の創生に関する調査研究
	グループ2 (1名)	・伝統的景観のための都市の森づくり

エ 調査研究成果の提供

平成19年度の各研究成果について、平成20年6月13日に市民及び名古屋市職員等を対象に報告会を実施した。

これまでの調査研究の成果をまちづくりについて考える材料として市民が活用できるよう、大学と協働して、企画展「都市に住む」展を開催した。

(2) 受託調査等

名古屋市から、まちづくりに関する各種調査研究等を5件受託した。

(3) 都市政策研究会の開催

学識者、企業、行政などの第一人者が参加し、都市政策や地域政策、まちづくりのあり方を探求する都市政策研究会を3回開催した。

回	講師	テーマ
第1回	独立行政法人水資源機構理事長 青山俊樹氏	名古屋のまちづくりと水
第2回	(財)リバーフロント整備センター理事長 竹村公太郎氏	21世紀文明と水循環
第3回	東北大学大学院特任教授 森杉壽芳氏	便益評価からみた中川運河の親水公園化

2 情報収集・提供

(1) まちづくり広場の運営

名古屋のまちづくりの足跡、まちづくりの方向性などを紹介する常設展示コーナーを運営するとともに、常設展示の更新に向けた基本設計を行った。

都市センター主催の企画展示を行うとともに名古屋市、大学、団体、企業などがまちづくりに関するテーマを設けて紹介する企画展示コーナーの運営などを行った。

来 館 者 数	50,944 名
---------	----------

(2) まちづくりライブラリーの運営

まちづくりに特化した専門図書館を運営し、まちづくりの専門家、まちづくりに関心のある市民に図書の閲覧、貸出を行うとともに、名古屋に関連する図書について歴史図書を中心に収集するなど、図書資料の継続的な収集整理を行った。

ブックポストを設置し、夜間や休館日等における図書の返却を可能にして、利用者へのサービス向上を図った。

利 用 者 数	28,072 名	
登 録 者 数	2,596 名	
貸 出 数	4,697 冊	
収 集 図 書	一 般 図 書	1,139 冊 (累計 27,648 冊)
	調 査 報 告 書 ・ 行 政 資 料	355 点 (累計 17,763 点)
	定 期 刊 行 物	250 誌

テーマを定めて所蔵している図書や資料を紹介する資料展を開催するなど、利用者数の増に努めた。

期 間	特 集 コ ー ナ ー
2/26 ~ 5/18	御船御行列之図
5/20 ~ 7/ 6	古地図にみる地名の由来
7/ 8 ~ 7/23	中川運河の歴史をたどる
7/25 ~ 9/28	ヒートアイランドと緑化 - 緑化地域制度 -
10/ 7 ~ 12/14	東山動植物園のあゆみ - そして、これから -
12/16 ~ 3/22	戦災復興土地区画整理事業とまちづくり
3/24 ~ 5/10	まちづくりライブラリーのあゆみ

(3) 機関誌の発行

まちづくりに携わる広範な人々の論文、都市センターの研究成果、名古屋のまちづくり情報などを紹介する機関誌「アーバン・アドバンス」を発行した。

号	テ - マ
第 46 号	都市の魅力と観光・交流
第 47 号	物流とまちづくり
第 48 号	都市型河川・運河の再生と都市の魅力づくり

(4) 広報紙の発行

名古屋都市センターの活動、名古屋のまちづくりの動きや新しい話題をわかりやすく紹介する広報紙「ニュースレター」を発行した。併せて、ホームページにもニュースレターの内容を掲載した。また広告掲載により、広告料収入の確保に努めた。

号	特 集 記 事
第 76 号	COP10 開催決定！ 世界に誇れる「環境首都なごや」をめざして
第 77 号	快適な都市空間をめざして 「緑化地域制度」の導入と「高度地区」の拡充
第 78 号	水辺空間を活かした美しく元気な名古屋へ 中川運河の再生をめざして
第 79 号	自分たちのまちを自分たちでつくる まちづくり活動助成「まち“夢”工事」の取り組み

(5) ホームページによる情報提供

名古屋都市センターの事業内容、これまでに行った調査研究の紹介、まちづくりデータや市民活動団体の紹介などのまちづくり情報の提供を引き続き行った。まちづくりライブラリーの利用の便を図るため、図書検索システムの運営を引き続き行った。

ア ク セ ス 数	369,408 件
-----------	-----------

(6) 歴史的資料の整理

市史編纂業務を引き続き行った。

「名古屋都市計画史」続編の編集準備を開始した。

3 人材の育成・交流

(1) まちづくり支援

ア 地域の“まちづくりびと”養成講座

(ア) ステップアップ編「まちづくりファシリテーターになろう！」(全3回)

地域でまちづくり活動を経験している人などを対象に、住民主体のまちづくりを行う技術を高めるための講座を新たに設けた。

講座では、「まちづくりファシリテーター(住民主体のまちづくりの話し合いの場を企画運営する人)」の役割を学び、模擬ワークショップを設計・実施するなどの体験をした。

開催日	各回のテーマ	講師	受講生
8/23	第1回「まとめる」	日本福祉大学准教授 吉村輝彦氏 岡崎まち育てセンター・りた事務局 長代行 三矢勝司氏	27名
9/6	第2回「組み立てる」		
9/27	第3回「やってみる」		

(イ) 入門編「住みよいまちを考えていこう！」(全6回)

熱田区日比野地区をモデルとして、住民自らが住みよいまちを考えていくための手法を学び、体験する講座。熱田区役所、熱田生涯学習センターや地元大学(名古屋学院大学)との初の連携講座として開催した。

まちづくりの進め方を学んだ後で、まち歩きや地域の方とのパネルディスカッションを通じてまちの魅力や課題を知り、さらにまちのデータを調べることでその裏づけをとり、それらを踏まえて、将来のまちの夢を描き、最終回では地域住民に向けてまちづくり提案発表会を行った。

開催日	各回のテーマ	講師	受講生
10/25	第1回「まちづくりの進め方」	名古屋学院大学教授 水野晶夫氏	32名
11/1	第2回「まちを歩いて観よう」	-	
11/15	第3回「まちについて話を聴こう」	-	
11/22	第4回「データを使ってまちの情報を調べよう」	-	
11/29	第5回「まちの夢を描こう」	岡崎まち育てセンター・りた事務局 長代行 三矢勝司氏	
12/6	第6回「まちづくり提案発表会」		

講座終了後、受講生の有志がまちづくり NPO「日比野ひとまちネット」を立ち上げ、日比野のまちづくりに取り組み始めた。

イ 「区民との協働まちづくり事業」事業報告会

名古屋市市民経済局地域振興課と共催で、区民と区役所の協働のあり方や地域のまちづくりを考える場として平成 21 年 2 月 3 日に実施した。

ウ 交通マップづくりワークショップ

名古屋市総務局交通政策室が主催した天白区池場地区をモデルとした交通マップづくりワークショップ（平成 20 年 9 月～11 月・全 6 回）に事業協力した。

地域の“まちづくりびと”養成講座修了生である「まちづくりびと」3 名をグループファシリテーターとして派遣し、池場地区の住民が交通の視点からまちづくりを考えるための支援を行った。

(2) まちづくり活動団体の助成

まちづくり基金事業として、市民が行う地域に根ざしたまちづくり活動を支援するため、「一般部門」及び「“はじめの一步”部門」の募集を行った。「一般部門」は、公開選考会を行い、平成 20 年 6 月 7 日にまちづくり基金運用委員会による審査を経て、次の団体が提案した活動への助成を決定した。「“はじめの一步”部門」は書類選考に基づき次の団体が提案した活動への助成を決定した。

部 門	応募団体	助成団体	助 成 団 体 名
一般部門	7 団体	5 団体	・山崎川グリーンマップ ・社会福祉法人 AJU 自立の家 ・特定非営利活動法人ひとにやさしいまちづくりネットワーク・東海 ・有松まち普請の会 ・国道 41 号線周辺地域の安全と環境をよくする会
“はじめの一步”部門	7 団体	5 団体	・笑楽健寿会 ・東海学区防災・安心まちづくり隊 ・なごや防災ボランティアネットワーク昭和 ・（わ）づくり ・名古屋城外堀ヒメボタルを受け継ぐ者たち

平成 18 年度に受けた(財)民間都市開発推進機構の拠出金(5,000 万円)を原資に、まちづくり活動団体が、地域を魅力的で住みやすい環境とするために、地域の特性や資源を活かし、「自分たちのまちを自分たちでつくる」活動に要する設計費・工事費を助成するため、「まち“夢”工事部門」の募集を行った。その第 1 次公開選考会を平成 20 年 7 月 12 日に、第 2 次公開選考会を翌年 2 月 21 日に開催し、まちづくり基金運用委員会による審査を経て、次の団体が提案した工事への助成を決定した。

部 門	応募団体	助成団体	助 成 団 体 名
まち“夢” 工事部門	8 団体	5 団体	<ul style="list-style-type: none"> ・ 守山リス研究会 ・ 特定非営利活動法人つくし ・ 歴史を活かしたまちづくり緑区ルネッサンスフォーラム ・ 特定非営利活動法人市民フォーラム 21・NPO センター ・ 特定非営利活動法人こども NPO (第 1 次選考免除団体)

平成 19 年度に助成を受けた団体による活動成果報告会を平成 20 年 5 月 17 日に実施した。

平成 21 年 2 月 1 日には、「『清洲越 400 年』プロジェクト」をテーマとした初のグループ交流会を実施した。

平成 21 年 3 月 7 日には、これまでに助成した団体に呼びかけ、まちづくり活動団体交流会を実施した。15 団体の参加により、積極的な情報交換を行った。

(3) 企画展の開催

企画展示コーナーにおいて、名古屋のまちづくりに関連する企画展示を次のように行った。

ア 主催事業

期 間	展 示 名
3/12 ~ 5/11	空から見た ” 大都市名古屋 ” 展
5/13 ~ 5/25	まちづくり活動助成団体活動成果報告展
7/23 ~ 8/24	子ども “ だがねランド 2008 ”
11/26 ~ 12/27	都市に住む ~ 次世代に引き継ぐ魅力ある都市 ~
3/17 ~ 5/17	金山南ビル 10 周年記念企画展・フォトモで甦る金山の記憶と風景

イ 共催事業

期 間	展 示 名	主 催 者
7/ 1 ~ 7/20	堀川・中川運河の再生から考える明日のなごや展	(社)日本プロジェクト産業協議会 名古屋大学大学院環境学研究科 堀川再生フォーラム
10/28 ~ 11/ 9	都市環境から考える明日のなごや展	名古屋工業大学 名古屋市
2/24 ~ 3/15	名古屋港から考える明日のなごや展	国土交通省中部地方整備局港湾空港部 (社)日本都市計画学会中部支部 名古屋港管理組合 名古屋市

ウ その他

期 間	展 示 名	主 催 者
5/27 ~ 6/ 8	中区制 100 周年記念協賛事業 第 21 回堀川文化講座 「名古屋 町づくり事はじめ」	堀川文化を伝える会
6/10 ~ 6/29	東海学生卒業設計コンクール 2008	(社)日本建築家協会東海支部
8/27 ~ 9/ 7	“名古屋のまちづくりと組合区画整理”展	名古屋市土地区画整理連合会
9/ 9 ~ 9/28	「福沢桃介の歩み」展	中部産業遺産研究会
10/ 4 ~ 10/13	「鉄道の日」記念イベント ときめき出発！ふれあいステーション	中部運輸局
10/15 ~ 10/26	第 5 回団地再生卒業設計賞展・名古屋	(社)都市住宅学会 中部支部
11/11 ~ 11/24	眠れるウォーターフロント中川運河 第 3 回フォトコンテスト作品展	特定非営利活動法人伊勢湾フ ォーラム
1/ 6 ~ 1/11	第 49 回全国大学・高専卒業設計展 示会 2008	(社)日本建築学会東海支部
1/14 ~ 1/25	「日本の環境首都コンテスト」パネル展	特定非営利活動法人環境市民 東海事務所
1/27 ~ 2/ 8	住宅耐震フェア	愛知建築地震災害軽減シス テム研究協議会
2/10 ~ 2/22	第 18 回わたらしい住まいづくり - ホッとすまいるホームの作り方 - 女性建築士の作品展	(社)愛知建築士会女性部会

(4) まちづくり講演会、セミナー等の開催

市民やまちづくりに関わる実務者を対象にし、まちづくり講演会、セミナー等を開催した。

ア まちづくり講演会

開催日	テ ー マ	講 師	参加者
11/24	歴史に学ぶまちづくり ～名古屋城と堀川が名古屋のまち づくりに果たした役割～	作家 童門冬二氏	179 名

3/14	金山南ビル 10 周年記念特別講演会 “ 場所の記憶 ” から “ 再生 ” へ	建築家 安藤忠雄氏 質疑進行 大阪府立大学教授 橋爪紳也氏	360 名
------	---	--	-------

イ まちづくりセミナー

開催日	テ ー マ	講 師	参加者
5/ 8	成熟社会における社会資本整備の あり方 - 生活基盤に重点をおいた社会資 本整備の新たな評価軸を考える -	成熟社会における社会資本 整備のあり方研究会（代表 岐阜大学地域科学部教授 竹内伝史氏）	88 名
11/12	持続可能なまちづくりと交通施策 - ソーシャル・エコロジー住宅地ヴ ォーバン -	環境ジャーナリスト・コン サルタント 村上敦氏	84 名
2/13	シャレットによるまちづくり - 日本的コミュニケーションを活 かして -	(有)プロセスデザイン 研究所所長 百武ひろ子氏	47 名

ウ その他シンポジウム等

(ア) 主催事業

開催日	テ ー マ	参加者
5/17	平成 19 年度まちづくり活動助成団体活動成果報告会	49 名
12/ 5	都市に住む～次世代に引き継ぐ魅力ある都市～模型講評会	70 名
2/ 1	平成 20 年度まちづくり活動団体交流会～グループ交流会～ 「清洲越 400 年」プロジェクト	28 名
3/ 7	平成 20 年度まちづくり活動団体交流会～全体交流会～	35 名

(イ) 共催事業等

開催日	テ ー マ	主 催 者	参加者
4/27	市民フォーラム 「子どもが主役のまちづくり」	特定非営利活動法人 子ども&まちネット	60 名
7/ 6	堀川・中川運河の再生から考える明日の なごや展開催記念講演会	(社)日本プロジェクト産業協議会 名古屋大学大学院環境学研究科 堀川再生フォーラム	102 名

開催日	テ ー マ	主 催 者	参加者
11/15	税とまちづくりに関する講演会・税に関する作品表彰	熱田納税貯蓄組合連合会	60名
11/28	(社)日本都市計画学会中部支部第6回研究室紹介大会()	(社)日本都市計画学会中部支部	41名
12/ 2	社会資本シンポジウム いま、どんな社会資本整備が必要なのか	成熟社会における社会資本整備のあり方研究会	45名
12/ 7	都市居住シンポジウム 都心に住む - 変わりゆく都心居住の課題と展望 -	(社)日本建築学会東海支部都市計画委員会	54名
2/ 3	「区民との協働まちづくり事業」事業報告会	名古屋市	70名
3/ 6	名古屋港から考える明日の名古屋展記念講演「グレーターナゴヤにおける名古屋港の役割と展望」	国土交通省中部地方整備局港湾空港部 (社)日本都市計画学会中部支部 名古屋港管理組合 名古屋市	80名
3/24	国際交流講演会 「北京の都市計画と開発の今」	名城大学アジア研究所 (社)日本都市計画学会中部支部	32名
3/29	名古屋都市センター特別講演 第8回モノづくり文化交流講座	名古屋市	150名

当該事業のみ都市センターが事務局、その他は全て共催事業。

(5) 賛助会員との交流

まちづくり特別講演会において賛助会員対象の特別席を設け招待をする等、賛助会員へのサービス向上を図った。

(6) 国際技術交流等の実施

まちづくりに関する国際技術交流として、国際協力機構（JICA）の国別研修の一環として次の研修を行った。また、海外からの視察1件（中華民国高雄市）についても対応した。

開催日	研 修 内 容	参加者
12/16	「ベトナム 都市計画」研修	8名
2/25	「チリ 災害リスク管理」研修	5名

(7) まちづくり相談等の実施

来館者に対するまちづくり相談を実施するとともに、小・中学生や市民の方々への館内施設の紹介等を21件行った。

	幼稚園	小学校	中学校	その他	計
件数(件)	1	5	8	7	21
人数(人)	28	122	91	154	395

大学生、高校生のインターンシップ、中学生の職場体験の場として学生・生徒を受け入れ、都市センターの職務内容への理解を広めた。

	大学生のインターンシップ	高校生のインターンシップ	中学生の職場体験	計
件数(校)	4	1	6	11
人数(人)	5	2	12	19

4 その他

(1) 会議室の貸出・喫茶の提供

ア 会議室の貸出

会議室利用区分別使用率

午前(9時~12時)	午後(13時~17時)	夜間(18時~21時)	全体平均
39.6%	66.9%	46.8%	51.5%

イ 喫茶の提供

交流サロンにおいて、喫茶の提供を行った。

(2) 施設の管理

名古屋都市センターの施設について名古屋市から受託管理した。